

# 会員の皆様へ

名教就美会

会長 永井孝雄

(昭和49年金属工学科卒業)



## 1. はじめに

令和2年世界に広がった新型コロナウイルス感染症は、日本で初めて発出された緊急事態宣言で感染者は一旦減少に転じましたが、8月に第2波、そしてこの冬に第3波が襲来し、飲食店を中心に営業時間の短縮や集会の自粛などが続いています。会員の皆様におかれましても、不自由な生活を余儀なくされている事と推察いたします。マスクと手洗いなどで自衛し、元気にお過ごしいただきたいと心から願っております。2020年は新型コロナ感染症対応でほぼ同窓会の事業は中止に追い込まれてしまいました。8月頃から名教就美会の常任幹事会は、オンライン開催に踏み切りました。

オンライン会議運営の経験を積んで、中止した2020年度の総会を、年度内にオンライン開催したいと思っています。オンライン会議を使用した事がある方はすでにご承知でしょうが、参加するには氏名・卒年・メールアドレスを事務局に連絡していただく必要があります。名教就美会のホームページから、会員のメールアドレス追加や住所変更など簡単に行えるようになっておりますので、<http://meikyoshubi.com/>にアクセスしてみてください。

このような状況下なので、ブラシュアップ研究会やクラス会サポートなどの事業についても、オンライン開催を検討中です。最近ではニューノーマルと言うそうですが、同窓会活動も変革が必要な時代が到来していると感じております。一方、大学もコロナ禍に対応すべくすべての授業をオンラインとし、学生へのPC貸し出し・スタジオ整備などの措置を講じています。これら緊急学生支援への要請に名教就美会として100万円を大学に寄付いたしました。

また多くの同窓会員からも個人として寄付をいただき誠にありがとうございました。

## 2. 2021年に延期された理工系学部100周年記念行事について



2021年11月20日土曜日母校の教育文化ホールにて100周年記念式典と記念講演会を開催予定です。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン開催になる可能性もあります。従って懇親会会場は未定とし、もう少し状況が見えてきた時点で決定する予定です。寄付によるキャンパス整備事業である、名教自然碑の整備については完成しておりますので、写真を載せておきます。そのほかには記念誌編纂と発行については、記念式典に合わせて準備が進んでおります。これらの事業費は寄付金が充当されますが、名教就美会は300万円、理工系同窓会全体では1600万円を大学に寄付いたしました。さらに多くの同窓会員から個人

として寄付をいただいております。大変感謝しております。西門バス停ロータリーの整備についても、第1期工事は完成しておりますが、最終計画の施工には資金不足の状況です。そのため寄付金募集は継続することとしております。

### 3. 母校・校友会・3同窓会の状況

校友会が6年前に発足し、学長・校友会長・3同窓会長による定例会議が設定され、これまで交流のなかった他同窓会との意見交換が活発になり相互理解が深まっています。昨年より校友会・富丘会と共催で、神奈川に縁のある一流企業の経営者15名による連携講座を開催しています。今年度はコロナ禍で中止が危惧されましたが、関係者の協力でオンライン講義で存続できました。名教就美会会員も講師として3人に熱弁をふるっていただきました。

母校の世界ランキングは300位以内を目指していますが、残念ながらこの5年間順位を上げるには至りませんでした。詳細は大学のHPに掲載されておりますので下記URLを参照ください。

<https://www.ynu.ac.jp/about/ranking/>

国立大学として生き残るためには、まずは大学ランキングを向上させる事が重要ですが、そのためには、本学の強みである実践教育の分野を絞って、世界が必要としている分野に資源を集中的に投下すべきではないでしょうか。例えばSTOP温暖化、STOP資源枯渇、STOP砂漠化等々です。

### 4. 名教就美会について

①**2020年度の総会**はコロナ禍により中止に追い込まれました。総会承認事項がございますので、年度内にはオンラインで臨時総会の開催を考えています。

その後2021年度の総会は5月29日（土）に教育文化ホールを予約しておりますが、オンライン開催になる可能性が十分あります。例年ですと講演者もすでに決定していますが、今年は講演会の開催方法が決まっておらず、確定に至っておりませんが、恒例の学長と同窓生を予定しています。

②**財政**については今年の新入生の入会率は89%と昨年から3%ダウンしました。これは4月のオリエンテーションや保護者が中止となり、例年なら3-4%あった4月入金がなくなったからと推察しています。

昨年度から就職支援活動を強化する事とし、学科EP・研究室と協力してOB・OG懇談会を開催し、77社から有料参加がありました。この収入から必要経費を差し引いて機械工学EP・材料工学EPに100万円を寄付することができました。今年はコロナ禍のためオンラインによる有料OB・OG懇談会開催となりますので課題がいっぱいです。

### 5. 名教自然会と（公財）横浜工業会の状況について

横国大同窓会としては、教育系友松会、経済・経営の富丘会、理工系の名教自然会が3同窓会としての枠組みを形成しております。名教自然会の会員は理工学部数理学部EPと都市科学部の環境リスク共生学科の卒業生と既存8同窓会による団体加入会員からなっており、名教就美会は団体として加入しております。

（公財）横浜工業会は教員・企業・卒業生の寄付を基金とし、毎年大学の教員・学生に毎年約1000万円の助成をしております。横浜工業会だよりを同封しておりますので詳細はそちらをお読みください。また賛助会員を募集しておりますのでご興味がある方は事務局までお問い合わせをお願いいたします。

### 6. 来年度の抱負

理工系卒業生の地域同窓会として、近畿同窓会、東海同窓会、静岡中部同窓会がありますが、コロナ禍によりいずれの会も2020年度は総会が中止になってしまい残念です。今後はオンラインシステムの活用が、ますます求められる時代になると思われます。

年輪を重ねる度に強い大学になるように、同窓生の絆を強めてゆく所存ですのでご協力をお願いいたします。

（令和2年12月7日記）